

学生の皆さんへ

学長 大塚知津子

ChatGPT 等をはじめとする生成 AI の利用について

ChatGPT などの生成 AI が急速に普及しており、今後ますます技術が進み、様々な場面で活用されていくことが考えられます。生成 AI は、学生の皆さんの学習において、上手に使用すれば、大変役立つものになりえると同時に、情報管理、信頼性、倫理及び法的な面でリスクや問題点もあります。

授業及び試験において、学生の皆さんが作成・執筆する提出物（レポート・論文・報告書・作品・小テスト等）に関して、いくつか注意する点があり、以下のように取り扱うことにします。大学の学修や学内外での活動等の際に留意事項等を十分理解していただき、適切な行動を期待します。

【留意事項】

○成績評価

生成 AI の回答を無批判に、そのまま利用することは、本学の学修到達目標の達成に適する姿勢ではありません。一般論においても、生成 AI の回答をそのまま書き写すことは盗用・剽窃にあたります。本学の成績評価で求められるレポートや課題、論文等において生成 AI の出力例や検出ツール等で生成 AI の回答をそのまま使用していることを確認した場合は、不正行為とみなし、本学諸規程の定めに従って対応します。

○情報信頼度の確認

生成 AI の回答には、誤りが含まれていることがあります。得られた情報が信頼できるかどうかを自ら十分に確認することが必要です。

○著作権等知的所有権

生成 AI の回答には、著作権侵害や盗用等となる文章が含まれている可能性があります。著作権等に対する正しい知識で確認しましょう。

○個人情報等の扱い

生成 AI に入力した情報は、生成 AI の内部情報として取り込まれます。また、個人情報や重要な情報（アルバイトやインターンシップ先の企業情報等）は、生成 AI の不具合や不正などで流出する可能性があります。個人情報や重要な情報の入力には厳に慎んでください。

AI と教育のあり方については世界中の教育関係者の間で議論が進んでおり、本学における対応についても、あくまで暫定的なものです。学生の皆さんはそれぞれの授業における AI 等の利用の仕方については担当教員の指示に従ってください。

以 上

令和5年7月21日

教職員各位

学長 大塚知津子

ChatGPT 等をはじめとする生成 AI への対応について

ChatGPT 等をはじめとする生成系人工知能(以下、「生成 AI」という。)の進展は目覚ましく、生成 AI は、教育現場でプラスとなることもあると同時に、学生の学力向上や適切な評価などの点で問題が生じる懸念があります。その利用については慎重な判断が必要です。生成 AI のリスクや問題点などを十分に認識し、授業における利用については、その内容や特性などを踏まえ、個別にふさわしい使い方等を検討し、対応してください。適正な評価を確保できない懸念がある場合は、授業及び課題における使用制限及び課題の形式等の工夫など明確なルール等の設定をお願いします。

学生に対しては、生成 AI による回答をレポート、論文等にそのまま利用することは自身の学修成果に繋がらないこと、盗用や剽窃、著作権の侵害と判断される場合があること、情報の正確性や管理の面で問題があることをしっかり認識させる必要がありますので、注意喚起をお願いします。

生成 AI へ入力した情報は内部情報として取り込まれ、他の人の質問により漏洩する可能性があるため、個人情報また業務上取得した機密情報や未発表の研究関連の情報など、外部に漏洩してはならない情報については、生成 AI に入力しないようご注意ください。生成 AI の処理内容や規約の内容によっては当該機密情報が法律上保護されなくなってしまうリスクがあります。併せて本学就業規則の服務規律における秘密保持に関する条項も参照してください。また、外部事業者が提供する生成 AI に、他社との間で秘密保持契約 (NDA) などを締結して取得した秘密情報を入力する行為は、生成 AI 提供者という「第三者」に秘密情報を「開示」することになるため、NDA に反する可能性があります。そのため、そのような秘密情報は入力しないでください。

本学では、用途・業務において生成 AI により、他者の著作物を使用して二次的著作物を生成し、それを自分のものとして主張すること及びその上で行われる行為についての利用を禁止します。ただし、他人の著作物を入力情報に用いない場合や文面や画像案の検討等、生成物自体を利用せず参考とする場合、あるいは作業負担軽減のための一時的な利用については、この禁止事項に該当しません。著作権法、商標法や意匠法などの規定に抵触していないかを文化庁や内閣府からの情報を参考に確認してください。

今後も生成 AI が取り巻く社会情勢や学内外における教育・指導のあり方等を踏まえ、必要に応じて生成 AI の利用に関する見直しを行う予定です。生成 AI は、変化が激しい分野ですので、その時点の状況を的確に把握し、適切に利用する必要がある点にも十分に留意しながら、日々の業務の効率化や改善の向上を図るべく効果的にご活用ください。

以上